



# 見沼自然散策

2023.5.13



見沼たんぼ地域ガイドクラブ



ミズキ



ミズキ

ミズキは枝を水平に広げ、その上に花をつける。葉は繊維が強く、ちぎれにくい

スダジイも開花中。花弁はなく、オシベをいっぱい伸ばす雄花。雌花は小さく目立たない



スダジイ



キジ雌



キジ雄

←キジの恋の季節。オスは「ケンケン」と鳴いて縄張り宣言。メスは気ままに歩いていくが、オスはついていくしかない

→オオヨシキリも大きな声で縄張り宣言。メスが子育てしている最中も、ほかのオスに取られないよう、ひたすら鳴いている



オオヨシキリ



マルカメムシ

←マルカメムシはクスなどマメ科が好き。茎に口を刺し、吸い取る

→タケウチトゲアワブキはシナノキに依存。幼虫は自分の周りに管状の殻を築き、樹液を吸って暮らす。不要な汁は管の先から出す



タケウチトゲアワブキ



幼虫の管



ギンメッキゴミグモ



ゴミグモ

クモたちも春に活動開始！まだ幼体なので巣も小さい。それでも、親と同じように巣を張り、獲物を待つ

コクサグモは水平に網を張り、落ちてくる虫を待つ



コクサグモ



クサノオウ



ニワゼキショウ

クサノオウには毒がある。昔はその毒成分を薬として用いていた。北米原産のニワゼキショウは明治に渡来。広く分布している

甘いおいのスイカズラは咲き始めは白で、だんだん黄色くなる。二つセットで咲くので実も二つ並ぶ



スイカズラ

